Town Report

御船町童話発表大会

8月31日、第46回御船町童話発表大会が小坂小学 校体育館で開催され、町内6校から選ばれた2年生か ら6年生の12人が発表しました。児童たちは、選ん だ本を堂々と発表し、素晴らしい表現力で観客を物語 の世界へ引き込んでいました。僅差の戦いを制し、最 優秀賞に選ばれたのが、松下芽生さんと寺田俊太郎く ん。松下さんは「相手の気持ちを考えながら話すよう に心がけた。郡大会では、もっと大きな声で発表した い」、寺田くんは「緊張したが、話しているうちに練 習の成果がでてきて、自信が持てたので堂々と話すこ とができた。郡大会では、今日の発表よりも限界を越 えて、さらに上を目指す気持ちで頑張りたい」と力強 く意気込みを話しました。



(七滝中央小3年) 「すみれおばちゃんの ひみつ」



(木倉小3年)

「さよなら ともだち」

おがた かいしゅう 緒方 快秀くん (小坂小5年) 「みずいろのマフラー」



堀田 遥愛さん

(七滝中央小6年)

「おかあさんの木」

柏原 瑛梨さん

(木倉小5年)

清水 颯太郎くん (滝尾小6年) 「ぼくらは知床探検隊」



まかた そうしろう 坂田 壮志朗くん (御船小3年) 「アンディとらいおん」



井上 佳音さん (滝尾小3年) 「くまモンとブルービー のなかまたち」



ひながたける日永 尊くん (小坂小2年) 「フレデリック~ちょっとか わったのねずみのはなし」



松下 芽生さん (高木小2年) 「いちばんしあわせな おくりもの」



藤崎 美月さん (高木小5年) 「みなまたの木」



また しゅんたろう 会田 俊太郎くん (御船小6年) 「とびだせ少年剣士」





8月24日、九州中央自動車道建設促進地方大会が宮崎

県高千穂町で開催され、沿線住民意見発表では、野田大輔

さん(田代)が大観衆の中、発表しました。この大会は、

熊本宮崎で構成する九州中央自動車道建設促進協議会が主

となり、沿線住民の各種団体が国に対して早期完成を要望

するものです。意見発表で野田さんは「復興への光は全線

開通すること。生活再建から、農業発展、地元の活性化に

つなげることができる。このチャンスを掴みたい」と思い

を語りました。なお、小池高山ICから上野IC(仮)、北中

島IC(仮)までは、2018年度開通予定となっています。



御船町代表として思いを語る野田さん

御船台団地でふれあい夏祭り

8月25日、第17回御船台団地ふれあい夏祭りが開 催されました。この祭りは、地域のつながりを大事に したいとの思いで結成した御船台親睦会(田中平会長) が主催となって開催。平成14年から始めて今年で17 回目。イベントでは、子どもたちがみこしを担いで団 地内を練り歩き、ステージでは、スイカの早食いやビー ルの早飲みなどが会場を湧かせました。カラオケ大会 では、ゲストの幼なじみ女性ユニット"with"や地元 ののど自慢たちが歌を歌い、賑わいました。



▲子どもたちによるみこし

ホームワイドで24時間チャリティーイベント

8月26日、ホームワイド御船店(藤田亮店長)で「24 時間テレビ愛は地球を救う」チャリティーイベントが 開催されました。募金ブースでは、今年で10年目と なるみふね福祉絆塾や中辺田見老人クラブ(馬場洋一 郎会長)が担当。今回は、犬猫譲渡会を行うジョート フル熊本プロジェクトなど、さまざまな団体がイベン トに参入。多くの人が笑顔で訪れました。藤田店長は 「今後も地域と共にありながら、継続していきたい」 と話しました。



吉無田の自然をマウンテンバイクで

8月26日、吉無田高原夏のMTB(マウンテンバイク) トレイルライドが特定非営利活動法人愛郷吉無田(渡 邊秀和理事長) 主催で行われました。参加者は、県内 外から約50人。吉無田水源で水をくみ、大自然の中を 出発しました。5kmと10kmのコースに分かれ、自然を 感じながら走行。ゴール後は、地元の食材を使ったバー ベキューで、吉無田ならではの料理を堪能しました。 宮崎から夫婦で来た野下誠さんは「自然の中でのマウ ンテンバイクは初めて。木陰のある林道を走り、爽快 な気持ちになった。また参加したい」と話しました。



自然を満喫しながら、走る参加者